



いわき市立大野中学校

学校だより 第10号

令和元年12月3日(火)
発行責任者：校長 田中 淳一
TEL：0246-33-2233

教育目標：自立と貢献（稼げる大人，リーダーシップのとれる大人になる）
育成したい力：自己マネジメント力 協働する力 探究する力

Catch Your Dream

11月29日(金)，キャリア教育の一環として、「Catch Your Dream」というプログラムを実施しました。このプログラムは，公益社団法人ジュニアアチーブメント日本，アクセンチュア株式会社，チューリッヒ保険会社のご支援により実現しました。「Catch Your Dream」は，グループワークや，5名の社会人の皆さんへのインタビューを通して，「夢・未来」「仕事・職業」の2つの観点で，自分の将来像の基盤となる価値観について理解するとともに，他者の価値観への理解・共感を得ること，また将来像に向けたアクション(行動)について考えることをねらいとしています。



全校生は，学年縦割りの6つのグループに分かれ，4つのステップ(「見つめよう，自分の価値観」→「インタビューwith大人」→「インタビューwithみんな」→「つくろうじぶん計画」)を通して，他者の考えを参考に，自分自身と向き合いました。また，社会人の皆さん(アクセンチュアから3名，チューリッヒ保険から2名の皆さん)に，これまでの経験に関することや，大切にしている考え方などについて，様々な質問を投げかけていました。受け身ではなく，主体的にこのプログラムに臨む生徒の姿に，私たち教員も学ぶことが多く，貴重な経験となりました。以下は，生徒の感想の一部です。

- 「周りと違っていい。今と未来は違うから今ある考えにとらわれすぎなくていい。」ということを感じた。
- 「私はここまでしかできない。」と決めつけていたけれど，もう少し頑張ろうと思った。
- 自分だけだと分からなかった選択肢を多く聞けたので，とても良かった。また，色々な将来の可能性があるので考えることができた。
- 今まででは将来について不安があったが，講師の皆さんのお話を聞き，色々考えたり発表したりして，深く自分と向き合うことができた。いつ自分の将来の夢が変わるか分からないが，違う道に進むことは間違いではないことが分かった。
- 自分のこれからの人生について，見通しを少しだけ立てることができた。大人の話聞き，これからどう生きていくかの選択肢が増えた。
- 色々な大人に自分の意見を聞いてもらえて，とてもうれしかった。あまり人に将来のことを話したことがなかったので，大人に話せたことで考えの幅が広がった。



<12月の主な行事予定>

2日(月)学カテスト(全学年)
7日(土)授業日(生徒会タイム)
9日(月)放射線教育(全学年)
11日(水)人権教育(全学年)

13日(金)ファイナンスパーク(2年)
16日(月)租税教室(3年)
21日(土)生徒会長サミット実践報告会
24日(火)第2学期終業式



ENGLISH SALON

11月18日(月)からの1週間、本校に新しいALT(ダニエル・コー先生)が来ました。ALTには、英語の授業における学習支援の他に、昼休み中の15分間、希望する生徒とのコミュニケーション活動(通称:ENGLISH SALON)を行ってもらっています。「ENGLISH SALON」には、毎回10名以上の生徒が参加し、ALTとの英語によるコミュニケーションを楽しんでいます。「ENGLISH SALON」は、英語に触れる機会を増やしてほしい、失敗を恐れずにチャレンジすることの楽しさを感じてほしいとの思いから始めました。英語の学習を自主的に進めるに当たっては、NHKの基礎英語などの活用もお薦めです。



YOUNG AMERICANS いわき生徒会サミット公演

11月15日から17日の3日間、「ヤングアメリカンズいわき生徒会サミット公演」が開催され、本校から5名の生徒が参加しました。ヤングアメリカンズは、「全ての人々が『自分の心の声に耳を傾ける』ことができるよう働きかけ、勇気を与えたい」という教育理念の下、1962年に設立された団体かつプログラムです。公演期間中、学校では見たことのない表情で歌ったり踊ったり、仲間やキャストとコミュニケーションをとる生徒たちの姿を見るたびに、ヤングアメリカンズの教育的意義を感じました。参加した生徒たちそれぞれが、自分の可能性を信じて、外に一步踏み出す行動力を身に付けることができたものと思っています。



公演期間中、学校では見たことのない表情で歌ったり踊ったり、仲間やキャストとコミュニケーションをとる生徒たちの姿を見るたびに、ヤングアメリカンズの教育的意義を感じました。参加した生徒たちそれぞれが、自分の可能性を信じて、外に一步踏み出す行動力を身に付けることができたものと思っています。

育成を目指す資質・能力

本校の教育目標は、「自立と貢献」です。大人の姿でイメージすると、「稼げる大人」(仕事をして経済的に自立し、社会的な信頼を得て、世の中に貢献できる大人)や「リーダーシップのとれる大人」(自分や社会のために、何かのせいにしないで、主体的・協働的に問題解決できる大人)になることです。そのような大人になるために、本校生徒に育成したい資質・能力を、生徒の実態などを踏まえて教職員で話し合い、次の3つ(自己マネジメント力×協働する力×探究する力)としました。

自己マネジメント力

【目指す生徒の姿】

- ☆今の自分が少し頑張れば達成できるよ、小さな目標を繰り返していく。
- ☆目指したい自分の未来像と、現在の自分をつくりながら、「自分づくり」を行っていく。
- ☆すべてのことは次へのヒントになると捉え、起こってしまったことを振り返り、今できることに向けて動き出す。

協働する力

【目指す生徒の姿】

- ☆自他の関心や強みが活きる関わり方を互いに作り出し、協力し合いながら進んでいく。
- ☆自他のこだわりや考えをききあひ、お互いの強みを生かしながら進んでいく。
- ☆他者と一緒に取り組むことで、自他の喜びを深めていく。

探究する力

【目指す生徒の姿】

- ☆この学びが自分にとってどういう意義があるのか、多岐にわたることを考えながら、進んでいく。
- ☆何かに取り組むプロジェクトをつくり、その活動の中で他者と関わりながら、考え、学んでいく。
- ☆何かをつくらったり、実践したりする中で、知識・技能や思考力・判断力・表現力等を身に付けていく。

3つの資質・能力には、それぞれ【目指す生徒の姿】(例えば、「すべてのことは次へのヒントになると捉え、起こってしまったことを振り返り、今できることに向けて動き出す。’)を設定し、学校、家庭、地域社会がイメージを共有しながら、子どもたちの教育や人材育成に当たれるようにしました。今後は、皆様のご意見を参考にしながら、改善を図っていきたいと思います。